

# 自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園  
下田中学校便り第3号  
令和3年6月29日発行



文責 校長 小林貴英

## 響け あいさつ しただの郷に！

これまでしただの郷学園では、しただの郷にさわやかなあいさつを広げていくことを目的とし、各学校でのあいさつ運動やあいさつのぼりの設置を行ってきました。今年度から、毎月第2月曜日を「しただの郷学園あいさつ運動の日」とし、中学生が母校の小学校において登校する児童にあいさつを届けることにしました。

先日、ボランティアを募ったところ、全校生徒の約4分の1が参加の意志を表明してくれました。

中学生の元気を各小学校に届けることができました。「どうして中学生がいるの」と普段と違う朝の光景に戸惑う小学生もいましたが、懐かしい仲間と再会し普段見せない笑顔もありました。しただの郷にますます気持ちのいいあいさつが広がることを願っています。次回7月12日（月）が楽しみです。



大浦小学校にて



下田中 校門前

中学校では毎朝、生徒玄関前であいさつ運動を実施しています。月・火曜日は保護者の皆様からも参加いただいています。忙しい朝の時間帯での御協力に感謝いたします。

今年度、ある運動部が校門前で登校する小中学生のみならず、行きかう車にも「おはようございます！」と声を届けています。運転する方々が笑顔で会釈を返してくれます。爽やかな朝です。

学校前の歩道を自転車を押して登校する姿が当たり前になりました。自転車通学生と徒歩通学生の安全を考慮し、昨年度から実施を始めたことです。小学生も安心して登校できます。小学生の歩く速さに合わせる中学生の優しい姿があります。



## 2年ぶりの水泳授業に向けて

6月下旬から始まる水泳授業に向けてプール清掃を実施しました。2年生が献身的・協力的に作業し、2年分の汚れを取り除いてくれました。水泳授業は、感染対策として密集を避けるために、2クラス合同での授業は実施しません。各クラス8回の水泳授業を予定しています。



## 中越地区大会 ～ 今年度 開催できた喜び ～

<大会日：15日、16日、23日、24日、26日>

「あと少しだったのに…」「あのときこうしていたなら…」「もっと練習しておけば…」 試合に負けた時には誰もがこんな気持ちになります。

試合に勝った時は「この点の改善が必要だ」「こんなふうになればもっとうまくできる」と考えます。

負けたとき、勝ったときに共通することがあります。それは、私たち人間にはうまくなりたい、勝ちたい、認められたいなど、前進する気持ちがあるということです。だから、負けて悔しい気持ちになり、苦しくても頑張る力が湧いてくるのです。

試合に限ったことではありません。私たちそれぞれには、今後活躍する場面がたくさんあります。そのときに最高のパフォーマンスができるように、日々こつこつと取り組み、力と自信をつけていきたいですね。

<県大会出場を決めた選手たち>

- 剣道 男子団体 3位
- 男子個人 佐野風斎 (3年) 優勝
- 若林祐汰 (3年) 9位
- 大谷倅生 (3年) 9位
- 女子個人 田下花南 (2年) 9位
- 卓球 男子個人 大津風音 (2年) 2位
- 水泳 津端 舞 (3年) 女子 100m背泳ぎ 優勝
- 女子 200m背泳ぎ 優勝
- 田中 楓 (3年) 男子 100m平泳ぎ 優勝
- 男子 200m平泳ぎ 2位

